

— 旅と空想の画家 —

安野光雅展



バスの近くの村「イギリスの村」 ©空想工房 / 作品データ提供 安野光雅美術館

平成29年

3月25日(土)～5月21日(日)

[開館時間]

10時～17時

(入館は16時30分まで / 月曜日休館)

[観覧料]

一般:800円、大学・高校生:400円、中・小学生:200円

※コロナカード利用可、20名以上団体割引



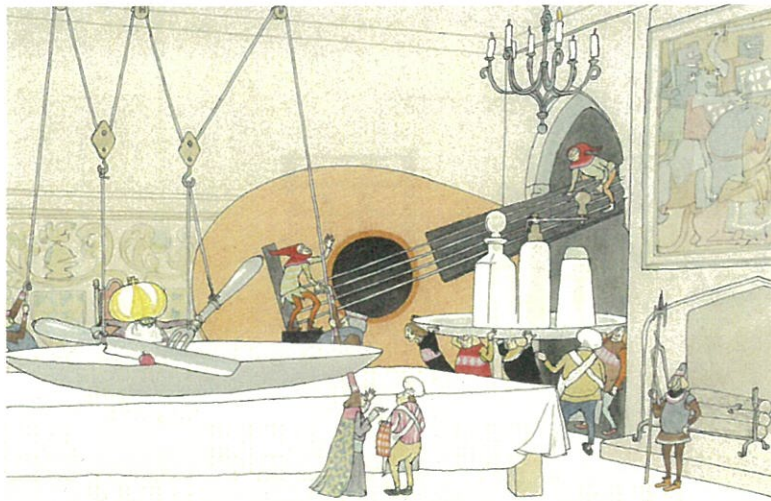
おたより(1977年5月)

主 催 / 丹波市教育委員会、丹波市立植野記念美術館
後 援 / 神戸新聞社、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、
読売新聞豊岡支局、産経新聞豊岡支局、丹波新聞社、サンテレビジョン
協 力 / 安野光雅美術館

丹波市立 植野記念美術館

兵庫県丹波市氷上町西中615-4 TEL.0795-82-5945
<http://www.city.tamba.hyogo.jp/site/bijyutukan/>





おきなもの すきな おうさま

— 旅と空想の画家 —

安野光雅展

繰り返し訪れたヨーロッパ周遊で得られた紀行作品で広く知られる安野光雅は、大正15年(1926)鳥根県津和野町に生まれました。工業学校を卒業後出陣し、復員後に師範学校で学んだのち、各地で様々な職を経て美術教員として勤めながら、絵の世界へと活動の場を傾斜させていきました。35才で教師を辞して本格的に画家として活動を始め、教育的かつ実験的な数々の絵本制作を行うようになります。エッシャーに影響を受けた最初の絵本作品「ふしぎなえ」は不可能図形の世界を描き大きな反響を呼びました。また文学にも造詣が深く、司馬遼太郎の「街道をゆく」の装画も描き自身の旅の画家としての想いを存分に発揮しています。

近年は、ヨーロッパ、中国に取材して水彩で描かれた旅情溢れる紀行作品が、多くの人々を魅了しています。

このたびは、画家のその多彩かつ多岐にわたる創作活動のなかから、絵本の世界と旅のスケッチに注目し、その個性的な水彩画で表現された氏の業績の一端をのぞいてみることのできる作品を展示し、安野光雅の世界に身近に触れる機会とします。



ドゥオモ広場



ラインの岸辺の村



ニュルンベルク



おたより(1978年2月)



六ヶ所村 二又



ノシャップ恵山泊

関連行事

◆開会式・ギャラリートーク

日時: 3月25日(土) 13:30~
会場: 植野記念美術館
2階 研修室及び展示室
講師: 安野光雅美術館
学芸専門員 廣石修氏
参加費: 無料 但し別途観覧料必要
予約: 不要

◆ワークショップ「水彩で春を描こう」

日時: 4月29日(土)と4月30日(日)
2日間で完成させます。両日とも13:30~
会場: 植野記念美術館 2階 研修室
講師: 白井邦昭さん(画家)
材料費: 実費(500円程度)
参加費: 無料 但し別途観覧料必要
予約: 先着20組(電話予約0795-82-5945)

◆ミュージアムコンサート

春にスイングーこころ はじけようー

関西を中心に第一線で活躍するミュージシャンが一堂に会して行うジャズセッション

日時: 5月14日(日) 開演13:30(開場12:30)
会場: 植野記念美術館 2階 研修室
出演: shu(しゅう) & ジャズユニット
shu (Vo.) / フィリップ・ストレンジ (P.) /
魚谷のぶまさ (Ba.) / 坂東等 (Dr.)

参加費: 無料 ※但し別途観覧料必要

定員: 100名(電話予約0795-82-5945)

申込: 4月1日(土) 午前10時から電話予約受付開始(先着順・定員に達し次第締切)



丹波市立 植野記念美術館

〒669-3603 兵庫県丹波市氷上町西中615-4
TEL.0795-82-5945
FAX.0795-82-5935
<http://www.city.tamba.hyogo.jp/site/bijyutukan/>

- ▶ JR福知山線柏原駅(又は石生駅)下車後、神姫グリーンバスで「美術館前」下車すぐ。
- ▶ 舞鶴若狹自動車道・春日JCTから北近畿豊岡自動車道・氷上I.C経由、氷上の信号を左折。
- ▶ 播但連絡道路・和田山JCTから北近畿自動車道・氷上I.C経由、氷上の信号を左折。
- ▶ 神戸・大阪・豊岡・城崎から高速バスで氷上バス停下車徒歩5分

